

蛇口から考える ムダな水源開発

まだまだ上がる?!
茨城の水道料金



いま茨城県民は 297万人で 462万人の 水道を負担しています。

茨城県の水道保有水源は 125.2 万トン。

工業用水の余剰分 55.6 万トンを転用すれば

180.8 万トンもの水源を持つことになります。

1 人当たり 1 日最大給水量 391 リットルで換算すると
462 万人分にもなります。

[参考]

水道保有水源 125.2 万トン - 1 日最大給水量 106.8 万トン = 水道余剰 18.4 万トン 工業用水保有水源 125.9 万トン - 1 日最大給水量 70.3 万トン = 工業用水余剰 55.6 万トン (2010 年度茨城の水道、茨城の工業より単位 : 日量)



**2035 年には
250万人で
なんと 621 万人分もの
負担になります。**

国の計画では 2020 年には八ッ場ダムや霞ヶ浦導水などが完成しています。

前頁のデータに、その開発水量 62.2 万トンを加えると茨城県の保有水源は 243 万トンに達します。

[参考]

茨城県が参加している水源開発 62.2 万トン：

八ッ場ダム 9.4 万トン 霞ヶ浦導水 45 万トン 湯西川ダム 1.9 万トン 思川開発 5.9 万トン（単位：日量）

人口予測は平成 24 年度茨城県総合計画より。

②

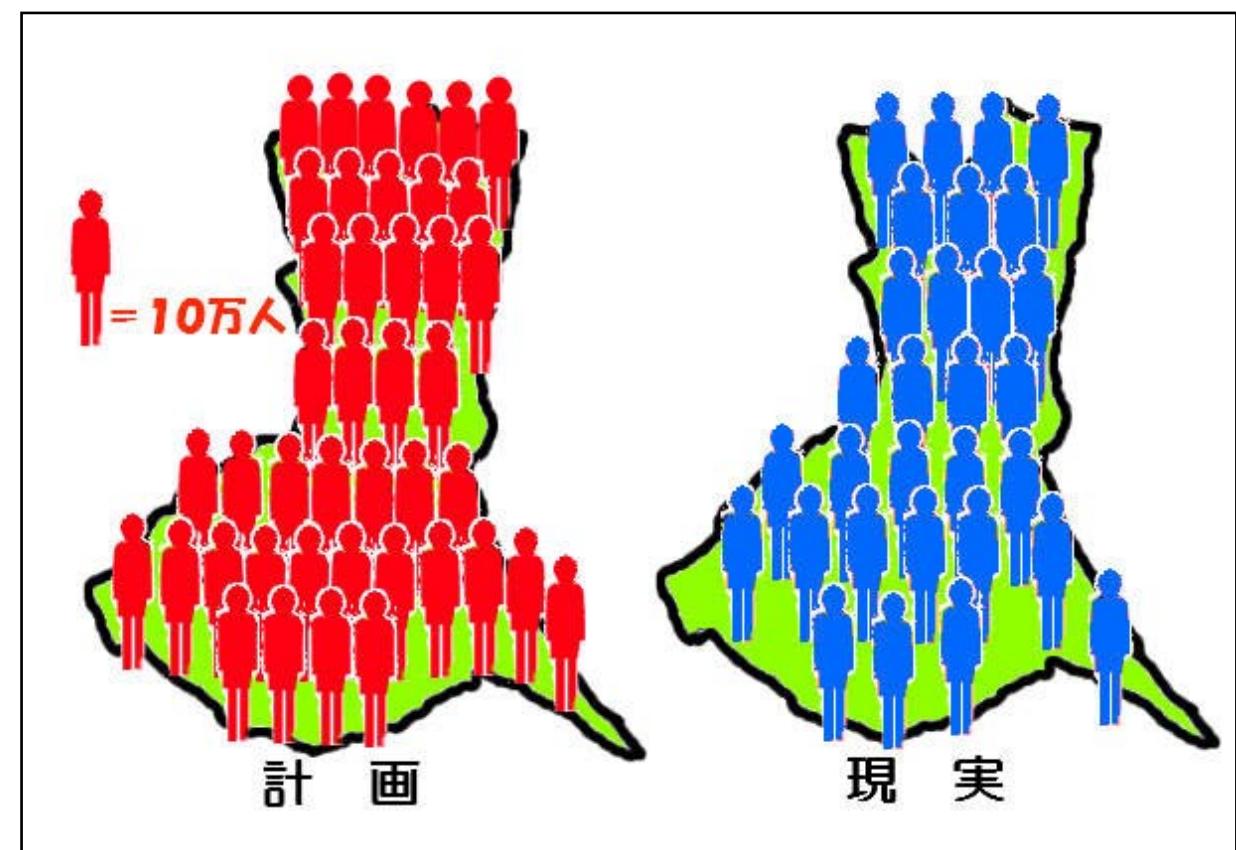


**1976年、
県のお役人が
市町村に将来人口を
振り分けました。**

**「昭和 51 年
茨城県総合基本計画」**



**なんと 2000年度の人口を 420万人とする
無茶苦茶な計画です。
でも、実際は 300万人に
一瞬とどいただけ。**



**恐ろしいことに、県は
420万人分の、
水需要計画を立て
市町村に
振り分けました。**

**「昭和53年
茨城県水道整備基本構想」**



**県は市町村に
「水をください」と
お願いする形を
とらせました。
これが
「責任引取水」です。**



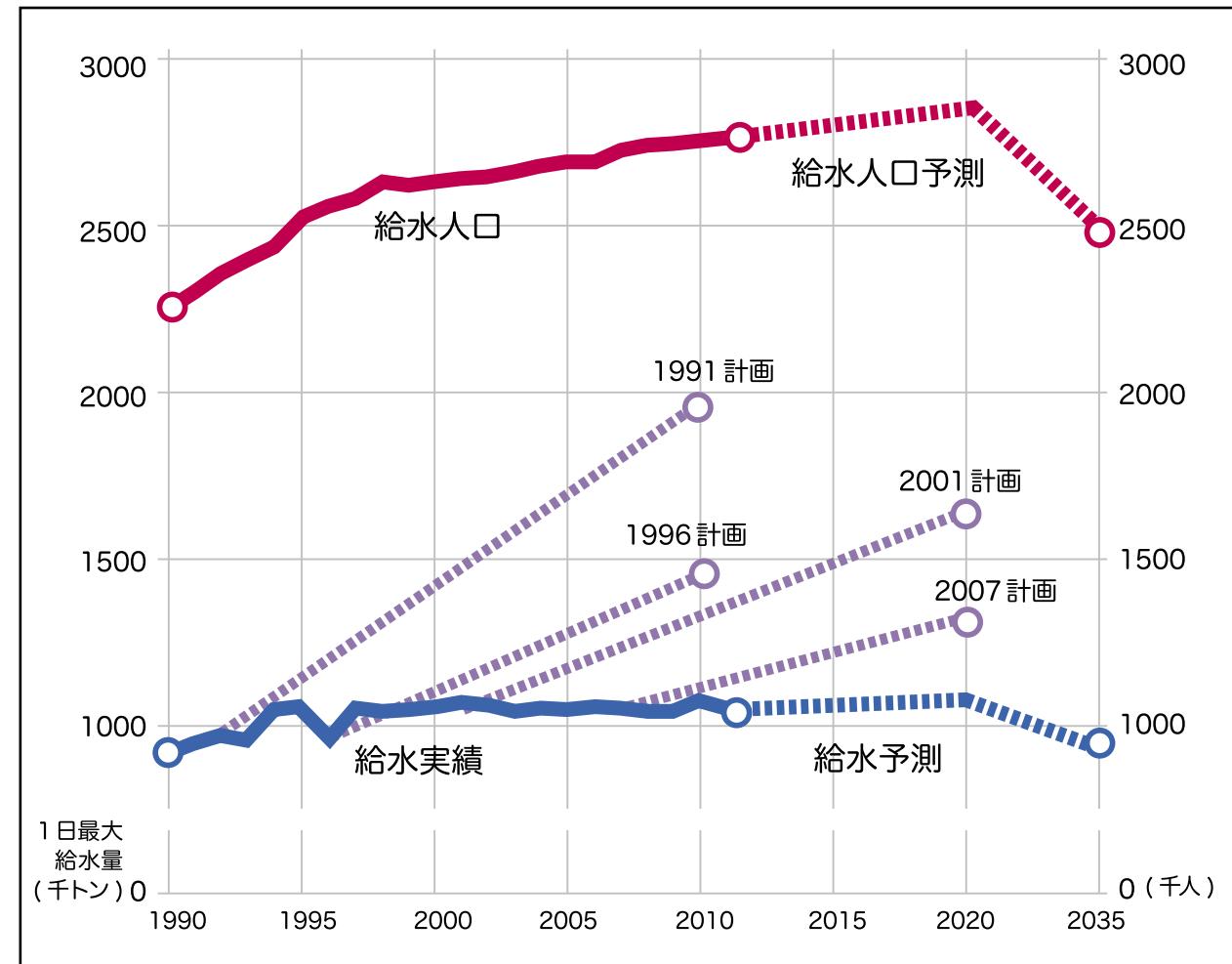
これで県は安心して
霞ヶ浦導水、
八ツ場ダムなどに
参加しました。
総額なんと1900億円です。

八ツ場ダム 219 億円、霞ヶ浦導水 595 億円、湯西川ダム 208 億円、思川開発 100 億円、合計 1122 億円。
これに水源地域対策特別措置法の事業、
水源地域対策基金の事業を加えると 1270 億円。
更に起債利息を加えると約 1900 億円にもなります。



県は井戸水を水道に切り替えさせるなど給水人口を増やしますが、実績は低迷。そして人口急減の淵が…。

■茨城県の水需要計画実績および
給水人口対比（1日最大給水量）



**水道料金の仕組みは
東電の
「総括原価方式」と同じ。
ムダなダム、
過剰な施設も
全部加算されます。**

水道料金に加算されない分は県民税で賄われます。
結局県民の負担になります。



県南、県西、県中央、鹿行の過払い なんと年間約30億円！

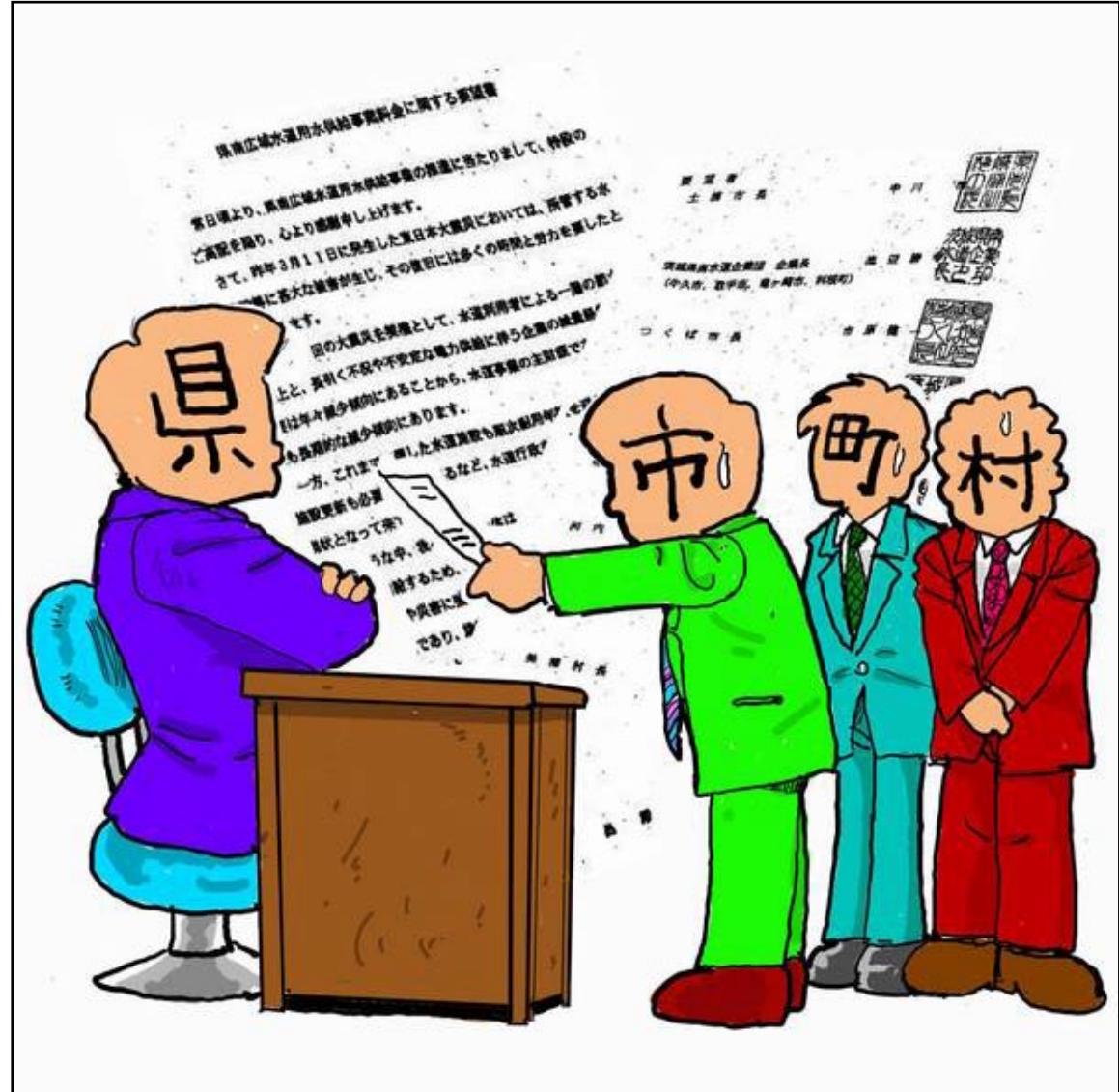
	給水実績 ①	市町村 保有水源②	県水必要量 ③	県契約水量 ④	契約余剰 水量④ー③	過払い 給水料金(千円)
鹿 行	82,316	27,040	55,276	84,000	28,724	517,032
県 南	252,733	24,598	228,135	272,775	44,640	691,027
県 西	206,087	192,667	13,420	80,000	66,580	1,478,076
県中央	302,046	285,710	64,332	55,971	10,408	302,248
合 計	843,182	530,015	361,163	492,746	150,352	2,988,384

水量単位：1日最大給水量トン／日。県北は県企業局から給水されていません。

県中央は保有水源 + 契約水量を給水水量が上回る自治体がありますが、
無認可の保有水源を利用し不足をきたしていないことから、契約余剰水量を推定値にしました。

市町村もつらい。 たまらず供給料金の 値下げを嘆願。

給水人口は増えながら、
水道料金収入は減少傾向。
さらに人口減少がはじまり、平成 21 年県西、
22 年県中央・県南、23 年鹿行と、
市町村首長は県企業局に
「供給料金の値下げ要望書」を提出。
でも問題は過大な契約水量にあります。



お役人は 本音をボロリ。



**茨城県の借金は
2兆円を越えました。
福祉・教育・医療費などが
削られて行きます。**



**水源開発を続ける限り
水道料金の値上げは
避けられません。
声を上げましょう。**





Ibaraki Mizu Mondai

平成 25 年6月 茨城県の水問題を考える市民連絡会
連絡先 : 090-4527-7768 神原